

琴の浦荘便り

平成25年1月発行
 特別養護老人ホーム 琴の浦荘
 琴海大平町2030番地
 095-885-2228
 担当：秋 桜ユニット



琴の浦荘の新たな幕開け

～入居者様やご家族、地域に対して
 安心と配慮ある円滑な施設移転を～



施設長 福田 安秀

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

昨年は、新琴の浦荘の施設整備に着工しました。私は工程会議への参加や工事現場の視察を通して、施設整備事業が実に多くの方々の理解と協力によって推進されていることを実感し、感謝の気持ちと同時にその責任の重さをひしひしと感じています。

工事現場での「他職種協働」の姿は施設運営のよき手本です。チームとして力を最大限発揮するには、目的やルールの共有、役割と責任の明確化がいかに大切であることを再認識しました。

秋の鴨池ふれあい祭りに職員数名と参加した時のことです。「来年はあなたたちも同じ地域の人やけんね。」「私たちも世話になるかもしれん。」笑顔で声をかけて下さる地元の方々の言葉が身にしみてうれしく感じました。祭りを通して「施設と地域」との関係が、「信頼と協働」の関係の始まりになりました。

さて、今年はいよいよ新しい琴の浦荘が戸根地区に完成し、三月には移転します。

『入居者は生活者であり、施設は生活の場である。施設に移り住んでもご本人の「これまでの暮らしの継続」を保障していく。地域福祉の拠点として地域に根ざしていく。』

この運営方針のもと、職員の質の向上を図りながら、個別ケアを具体的に実践してまいります。

今年の干支は「巳」です。「巳」という字は、胎児の形を表した象形文字で、蛇が冬眠から覚めて地上にはい出す姿を表しているともいわれ、「起こる、始まる」などの意味があります。古来より「神の使い」して崇められてきた蛇は脱皮をすることから「復活と再生」「美と知恵」の象徴と考えられています。まさに琴の浦荘の新たな幕開けにふさわしい年です。

法人の総力をあげて安心と配慮ある施設移転をやりとげ、職員一同探究心と情熱を持って地域福祉を推進してまいります。

どうぞ、ご理解とご協力の程よろしくお願い申し上げます。

新施設の進捗状況



2月完成に向け、着々と工事が進んでいます。今月下旬からご家族様への個別面談会を実施し、新しい施設のことについて共通理解を深めていく予定です。入居者様、ご家族様にとって安心と配慮ある移転を進めて参ります。

お正月の準備 門松づくり



しめ縄づくり



お正月に備え、施設の玄関に飾る大門松や、ユニットに飾るしめ縄づくりを行いました。入居者様からのアドバイスやお手伝いをして頂きながら、とても良いものができました。

琴の浦荘もちつき大会！！

12月20日(木)



今年も餅つき大会を行いました。去年よりも多くの入居者様が大会に参加され、「よいしょー！」と大きな掛け声をかけながら餅をついておられました。また、職員がついていると「腰が入ってない！」「ちゃんと餅を返さんば！」とアドバイスをされる方もいて、大変盛り上がりました。ついた餅は鏡餅にしてお正月に飾ります。

メリークリスマス♪

12月25日(火)



今年のクリスマスは各ユニットにて行いました。サンタクロースに扮した職員よりプレゼントやケーキが配られ、とても喜んでおられました。

ノロウイルス勉強会

12月19日(水)



感染対策のためノロウイルスの勉強会を実施しました。マニュアルに沿って実際に模擬演習を行いもしもの時に備えます。職員全員が対応できるようこれからも継続して勉強会を開催していきます。

今年もありがとうございます！



長崎県漁連の皆様から今年もはまちを3本、鯛を2本いただきました！新鮮なお刺身やお煮しめとして召し上がられ、入居者様は満足されておりました。

認知症サポーター養成講座

12月4日(火) in 長浦小学校

12月18日(火) in 村松小学校



琴海地域包括支援センターが企画した講座に私たち琴の浦荘の職員と他事業所の職員さんとともに参加させていただきました。琴海地域にある介護事業所との連携がとれ、地域を支える輪が広がってきています。